

\ 高槻赤十字病院の最新情報をお届け! /

地域医療連携だより

84

vol.

2021年6月発行

TOPICS

コロナと共に

- 1 COVID-19 対応
- 2 一般救急





集中治療室では、ビニールカーテンで遮蔽、ビニールテープでゾーンニングするなど、野戦病院的な対策で、COVID 重症患者さんを収容しています。COVID 重症が多く、他疾病の重症患者さんとの調整が必要となる日もありますが、どうにかやり繰りしております。



腹臥位療法。この治療で呼吸状態が改善、人工呼吸から離脱できる症例も複数経験しております。ただし点滴や気管チューブが抜けないように細心の注意が必要、また大柄な患者さんをひっくり返す体力的負担もなかなか大きく、複数のスタッフが集まって実施しています。



新型コロナウイルス感染症、とりわけ第4波の想定を超えた感染拡大により、昨今は「災害」と呼んでも過言でない状況にあるようです。先生方におかれましては、コロナ関連の対応とかかりつけ患者さんの診療を両立され、ご多忙を極めていらっしゃる事とお察しいたします。病院に勤務する私どもも先生方と似通った現況で、【1】COVID19 患者さん（疑い症例含む）の対応に追われながら、【2】一般傷病の救急診療もできる限り疎かにならないようにしたい…と考えております。もっとも「両立」を望んでも、下手をすると「二兎を追う者は…」状況に陥らないか腐心する日々で、そんな近況の一端をご紹介させていただきます。



救急部長 岡本 文雄

01 COVID 19 対応

当院は国内流行し始めた昨年早春から対応に取り組み、熱心な感染管理室や呼吸器内科（従来から当院の看板的診療科の一つ）が中心となり、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」にも指定され、発熱者の診療と10〜20名程度の入院受入れを継続してきました。私どもの救急部でも多くの発熱症例の救急受診の診療に従事して参りましたが、なるべく心がけていることが2点ございます。それは（ア）救急外来での感染対策（基本中の基本ですが、古色蒼然たる施設や設備では少々工夫が必要でした）、（イ）診断及び治療の確実性…これは（A）コロナ症例を見落とさないことと、（B）逆にコロナばかり疑う余り重篤な他疾患を見逃す（「COVID blindness」と称されるようです）事がないように気をつける…という両面力



コロナ転送を載せた救急車
その後ろの救急車は一般傷病者を搬入しています

バーが欠かせません（ご開業の先生方にあっても同様の苦勞が絶えない事でございます）。そして今春の第4波、当院では行政の求めでコロナ受入れ病床を緊急増床し、呼吸器内科以外の医師や看護師も応援として従事しております。さらに府内の重症病床不足を受け急遽、人工呼吸を開始した重症患者さんも自院での治療継続を要請されまし



ER/ICU スタッフ

た。重症集中管理は救急部で担い、吉見救急副部長と中村（恵）医師（大阪医薬大救急医学教室から出向）、里村集中治療認定看護師らが牽引役で、腹臥位療法をはじめ様々な最近の知見を導入して成果を挙げております。ECMOを装着する症例は現時点ではまだ経験しておりませんが、必要な症例には循環器内科のサポートを得て使用できる準備を整えております。

02 一般救急

本業である通常の傷病患者さんの救急受診にも極力対応しております。新型コロナウイルス第4波渦中の4月～5月の期間も、どの診療科も緊急処置（心臓カテーテル検査、緊急内視鏡等）や手術（外科、整形外科、形成外科等）を継続しております。各科とも地域医療への貢献意識が強いことと、また若手や研修医に豊富な症例を経験させるために、コロナ禍にあっても腕の振るい甲斐のある症例を喜んで受け入れてくれております。現実には、COVID19対応を充実させると、一般傷病用の病床やマンパワーのやり繰りが厳しくなる傾向は否めず、院内外の状況変化に感じつつ前述の【1】と【2】をなるべく両立できるように多くの職種が工夫や調整を重ねております。もう1年間以上に渡って相互協力を重ねてきたおかげ

が、最近は当院内のまともりが増したような感もございます。そんな「まともり力up」も活かして、関わりある多くの職員たちと協力しながら、今現在の「ウィズ・コロナ」や、その先の「ポスト・コロナ」に向けても、地域登録医の先生方や患者さん方に信頼していただけるように勤めようと考えており、今後とも宜しくお願い申し上げます。末筆で恐縮ですが、先生方や職員の皆様方もくれぐれも心身をご自愛ください。



不整脈の電氣的除細動実施の一コマ
(研修医の指導も兼ねて処置しています)

高槻赤十字病院 地域医療連携課

〈 外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院依頼などについての窓口です 〉

TEL 072-696-3274 (直通) / FAX 072-695-0054 (直通)

TEL 072-696-0571 (代表) / FAX 072-696-1228 (代表)

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1丁目1番1号

✉ renkei-jrct@takatsuki.jrc.or.jp

🌐 <https://www.takatsuki.jrc.or.jp>

地域医療連携課営業時間

平日 8:40～19:00

土曜 8:40～13:00 (祝日除く)

